資料2

令和5年度認知症初期集中支援チーム実績報告

**１．概要**

○認知初期集中支援チーム

複数の専門職が、家族の訴え等により、認知症が疑われる人や認知症の人及びその家族を訪問し、アセスメント、家族支援などの初期の支援（概ね6か月）を包括的・集中的に行い、自立生活のサポートを行った。

昨年度に引き続き、市内5圏域の各直営包括内に設置していたチームを高齢者人口で2グループに分け、それぞれのグループにチーム医（専門医）を配置している。

また、チーム医（専門医）によるアウトリーチ機能と家族に対する面談機能を取り入れ、受診拒否等で対応に苦慮するケースに対応するための機能強化を行った。

　○チーム設置箇所

５チームでそれぞれの圏域を支援

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| グループ | 設置箇所 | 担当圏域（地区） |
| ① | 中部地域包括支援センター | 中部圏域（夏見、高根・金杉、高根台、新高根・芝山） |
| 南部地域包括支援センター | 南部圏域（宮本、湊町、本町、海神） |
| 西部地域包括支援センター | 西部圏域（葛飾、中山、塚田、法典） |
| ② | 東部地域包括支援センター | 東部圏域（前原、二宮・飯山満、薬円台、三山・田喜野井、習志野台） |
| 北部地域包括支援センター | 北部圏域（二和、三咲、八木が谷、松が丘、大穴、豊富、坪井） |

**２．チーム体制**

［中部圏域］

|  |  |
| --- | --- |
| チーム医 | チームの要件を満たす専門医　グループ①で1名 |
| チーム員 | 中部地域包括支援センター　4名  ※いずれも国が定める認知症初期集中支援チーム員研修の受講者 |
| 協働支援 | 中部地域包括支援センター　1名  新高根・芝山、高根台地域包括支援センター　6名 |

［南部圏域］

|  |  |
| --- | --- |
| チーム医 | チームの要件を満たす専門医　グループ①で１名 |
| チーム員 | 南部地域包括支援センター　5名  ※いずれも国が定める認知症初期集中支援チーム員研修の受講者 |
| 協働支援 | 南部地域包括支援センター　2名  宮本・本町地域包括支援センター　5名 |

［西部圏域］

|  |  |
| --- | --- |
| チーム医 | チームの要件を満たす専門医　グループ①で1名 |
| チーム員 | 西部地域包括支援センター　5名  ※いずれも国が定める認知症初期集中支援チーム員研修の受講者 |
| 協働支援 | 西部地域包括支援センター　1名  塚田地域包括支援センター　5名  法典地域包括支援センター　6名 |

［東部圏域］

|  |  |
| --- | --- |
| チーム医 | チームの要件を満たす専門医　グループ②で1名 |
| チーム員 | 東部地域包括支援センター　4名  ※いずれも国が定める認知症初期集中支援チーム員研修の受講者 |
| 協働支援 | 東部地域包括支援センター　1名  前原地域包括支援センター　5名  三山・田喜野井地域包括支援センター　6名  習志野台地域包括支援センター　7名 |

［北部圏域］

|  |  |
| --- | --- |
| チーム医 | チームの要件を満たす専門医　グループ②で1名 |
| チーム員 | 北部地域包括支援センター　4名  ※いずれも国が定める認知症初期集中支援チーム員研修の受講者 |
| 協働支援 | 北部地域包括支援センター　2名  二和・八木が谷地域包括支援センター　6名  豊富・坪井地域包括支援センター　5名 |

**３．令和5年度の実施状況**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 圏域 | 支援対象者 | チーム員会議 | 支援終了者 | 支援終了後の引継ぎ先 | | | | |
| ＣＭ | 包括 | 施設 | 医療 | その他 |
| 中部 | 6人 | 9回 | 3人 | 1人 | 1人 | 0人 | 2人 | 0人 |
| 南部 | 9人 | 8回 | 6人 | 1人 | 1人 | 2人 | 3人 | 1人 |
| 西部 | 5人 | 8回 | 3人 | 2人 | 0人 | 0人 | 0人 | 1人 |
| 東部 | 14人 | 6回 | 9人 | 3人 | 3人 | 1人 | 0人 | 2人 |
| 北部 | 11人 | 6回 | 8人 | 2人 | 5人 | 0人 | 4人 | 0人 |
| 計 | 45人 | 37回 | 29人 | 9人 | 10人 | 3人 | 9人 | 4人 |

※　支援対象者の「支援終了後の引き継ぎ先」は、複数となることもあり。

令和6年度認知症初期集中支援チーム事業計画

**１．概要**

○認知初期集中支援チーム

・令和6年度は令和5年度に引き続き、市内5圏域の各直営包括内にチームを設置し、5チームを高齢者人口で2グループに分けて、それぞれのグループにチーム医（専門医）を配置し、チーム員会議の開催は、各グループで月1回の開催とし、緊急案件等の対応として臨時会を最大5回開催する。

また、チーム医（専門医）によるアウトリーチ機能と家族に対する面談機能についても引き続き取り入れ、受診拒否等で対応に苦慮するケースに対応していく。

　○チーム設置箇所

5チームでそれぞれの圏域を支援

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| グループ | 設置箇所 | 担当圏域（地区） |
| ① | 中部地域包括支援センター | 中部圏域（夏見、高根・金杉、高根台、新高根・芝山） |
| 南部地域包括支援センター | 南部圏域（宮本、湊町、本町、海神） |
| 西部地域包括支援センター | 西部圏域（葛飾、中山、塚田、法典） |
| ② | 東部地域包括支援センター | 東部圏域（前原、二宮・飯山満、薬円台、三山・田喜野井、習志野台） |
| 北部地域包括支援センター | 北部圏域（二和、三咲、八木が谷、松が丘、大穴、豊富、坪井） |

**２．チーム体制**

［中部圏域］

|  |  |
| --- | --- |
| チーム医 | チームの要件を満たす専門医　グループ①で1名 |
| チーム員 | 中部地域包括支援センター　3名  ※いずれも国が定める認知症初期集中支援チーム員研修の受講者 |
| 協働支援 | 中部地域包括支援センター　2名  新高根・芝山、高根台地域包括支援センター　6名 |

［南部圏域］

|  |  |
| --- | --- |
| チーム医 | チームの要件を満たす専門医　グループ①で1名 |
| チーム員 | 南部地域包括支援センター　3名  ※いずれも国が定める認知症初期集中支援チーム員研修の受講者 |
| 協働支援 | 南部地域包括支援センター　4名  宮本・本町地域包括支援センター　5名 |

［西部圏域］

|  |  |
| --- | --- |
| チーム医 | チームの要件を満たす専門医　グループ①で1名 |
| チーム員 | 西部地域包括支援センター　5名  ※いずれも国が定める認知症初期集中支援チーム員研修の受講者 |
| 協働支援 | 西部地域包括支援センター　1名  塚田地域包括支援センター　5名  法典地域包括支援センター　6名 |

［東部圏域］

|  |  |
| --- | --- |
| チーム医 | チームの要件を満たす専門医　グループ②で1名 |
| チーム員 | 東部地域包括支援センター　4名  ※いずれも国が定める認知症初期集中支援チーム員研修の受講者 |
| 協働支援 | 東部地域包括支援センター　1名  前原地域包括支援センター　5名  三山・田喜野井地域包括支援センター　6名  習志野台地域包括支援センター　6名 |

［北部圏域］

|  |  |
| --- | --- |
| チーム医 | チームの要件を満たす専門医　グループ②で1名 |
| チーム員 | 北部地域包括支援センター　4名  ※いずれも国が定める認知症初期集中支援チーム員研修の受講者 |
| 協働支援 | 北部地域包括支援センター　2名  二和・八木が谷地域包括支援センター　6名  豊富・坪井地域包括支援センター　5名 |